

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 96

2015年12月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、近藤 満 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 静岡大学インキュベーション施設の入居者募集案内
2. 「利益相反セミナー」を開催します
3. 静岡大学・ユーコープ連携講座ご案内
4. 静岡大学・中日新聞連携講座2015 「光の不思議な世界」ご案内
5. 「第3回HEPTコンソーシアムフォーラム」ご案内
6. 浜松地域新産業創出会議主催 第2回技術サロン
新材料による高付加価値化への展開 ～ナノ炭素素材の産業応用～

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 静岡大学インキュベーション施設の入居者募集案内

静岡大学イノベーション社会連携推進機構では、静岡大学発ベンチャー企業の育成と支援、大学シーズの活用を希望する地域企業とのマッチング支援等を行っております。

そうした中、静大発のベンチャー企業の育成支援の一環として、浜松キャンパス（静岡県浜松市中区城北3-5-1）に所属する教員の研究シーズを活用した事業化や教員の研究シーズを利用した地域企業や学生等による事業化準備を対象としたインキュベーションルームの2016年度入居申込み受付を開始しましたので、ご案内します。

募集するインキュベーションルームには、40平米の実験室タイプ9室と、21平米のオフィスタイプ5室があります。

原則として利用期間は1年間ですが、起業化計画の進捗度に応じて最大で3年間の継続利用も可能です。

インキュベーションルームの使用料は、原則『無料』です。
(水道光熱費・通信費については実費ご負担いただきます)

イノベーション社会連携推進機構産学連携推進部門では、インキュベーション施設の入居者に対して事業化に向けたビジネスプランのブラッシュアップ、資金計画、販路開拓等について積極的にバックアップさせていただきますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【詳細】（募集要項と申請書）

http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event002375.html

【提出期限】2016年2月1日（月）

※現在入居中の方も、入居3年未満であれば来年度の継続利用申し込みができますが、その場合も利用申請書は提出していただきます。

【問合先】静岡大学イノベーション社会連携推進機構

2. 「利益相反セミナー」を開催します

大学の「第三の使命」が産学官連携等を通じてより直接的に社会との関わりを持ち、社会貢献を果たしていくことであると言われだしてから、既に10年以上経過しております。その間、社会との関係が密接になっていくことと比例して、大学ではこれまであまり意識されなかったリスクが発生しております。こうしたリスクを事前に察知して、それらをマネジメントすることは、大学が社会からの信頼を維持しながら、その本来の使命を果たしていく上で欠くことのできない活動です。

今回はそうしたリスクの一つである「利益相反」とそのマネジメントについて、専門家である筑波大学の新谷由紀子准教授を招きセミナーを開きます。

【日時】2016年2月2日（火） 13：30～14：30
【場所】静岡大学浜松キャンパス S-Port3F 大会議室

【講師】筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室
准教授 新谷 由紀子 氏

【対象】大学等の教職員、公的機関のコーディネーター
【参加費】無料

【主催】東海イノベーションネットワーク（東海iNET）

【申込・問合せ先】
東海イノベーションネットワーク事務局
TEL：053-478-1666
FAX：053-478-1719
E-mail：tinet[at]cjr.shizuoka.ac.jp

3. 静岡大学・ユークープ連携講座ご案内

テーマ「アンチエイジングはどこまで可能となったか？」
寿命はどのように決まるのか？ 健康に生きるためにはどうしたらよいのか？
-私たちにとって身近な、かつ永遠の課題です。
今、まさに老化と死の機構が現代生物学で解明され始め、人類は老化を科学的にコントロールできる段階にきました。
今回の講座では、食の問題にもふれつつ、現代生物学の知見を紹介しながらこの問題を考えます。

【日時】2016年1月23日（土）10：30～12：00
【会場】静岡大学浜松キャンパス
附属図書館浜松分館（S-Port）3階大会議室
【講師】丑丸 敬史 氏[静岡大学理学部生物科学科 教授]

【対象】一般市民（どなたでも）
【受講料】無料
【定員】80名（申込先着順）

【申込方法】

しずだい産学連携メールマガジンVol196
静岡大学イノベーション社会連携推進機構 公開講座係まで
FAXかメールにてお申し込みください。

FAX : 054-238-4295
E-mail : LLC[at]entry.Lc.shizuoka.ac.jp

※氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号、講座名を
明記してください。

【問合せ先】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 公開講座係
TEL : 054-238-4817 (平日9:30~16:00)
E-mail : LLC[at]ipc.shizuoka.ac.jp

4. 静岡大学・中日新聞連携講座2015 「光の不思議な世界」のご案内

ノーベル物理学賞受賞で話題となった青色LED
日本の光技術に注目が集まる中、浜松の最先端の光研究をお届けします。

【日時】 2015年10月3日（土）～2016年2月13日（土）
【会場】 静岡大学浜松キャンパス 附属図書館浜松分室（S-Port）3階大会議室

【プログラム】

第4回：2016年1月23日（土）14:00～16:00
『トンボの目で極限現象を見る：ヒトとは違う見方で、見えてくる』
電子工学研究所 准教授 香川 景一郎

第5回：2016年2月13日（土）14:00～16:00
『近未来は光健康診断：光を使って体の活動や健康状態を測る』
大学院総合科学技術研究科 准教授 庭山 雅嗣

【受講料】 無料
【定員】 100名申込先着順
【詳細】 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event002262.html>

【申込】 下記いずれかの方法でお申し込みください

FAX : 054-238-4295
メール : LLC[at]entry.Lc.shizuoka.ac.jp
葉書 : 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学イノベーション社会連携推進機構 連携講座係

※郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、講座名、参加回を明記して
ください。

5. 「第3回HEPTコンソーシアムフォーラム」のご案内

組込みソフトウェア技術コンソーシアム（HEPTコンソーシアム）は、地域産業の
組込み開発技術の向上に寄与することを目的として、平成25年1月に設立致しました。
設立3周年のイベントとして、第3回HEPTコンソーシアムフォーラムを下記の通り計画
しておりますのでご案内申し上げます。

今回のフォーラムでは、基調講演に清水メディア戦略研究所 代表取締役 清水計宏氏
をお招きし、2016 International CESに見る電子機器・サービスの最新動向と方向性
についてご講演頂きます。更に、講演として マイクロソフト株式会社 テクニカルエバン

ジェリスト 太田寛 氏にIoT の概要、IoT を実現する各種サービスと技術、開発方法、各種適用事例についてご講演頂く予定であります。

【日 時】 2016年2月8日（月）
【場 所】 プレスタワー17F 静岡新聞ホール
（静岡県浜松市中区旭町11-1）

【主 催】 浜松市、静岡大学、組込みソフトウェア技術コンソーシアム、
公益財団法人浜松科学技術研究振興会

【参加費】 無料（フォーラム後の交流会ご参加の際は4,000円）

【詳細・申込】 <http://bit.ly/hept-3rdforum>
【パンフレット】 <http://bit.ly/hept-3rdforum-pdf>

6. 浜松地域新産業創出会議主催 第2回技術サロン 新材料による高付加価値化への展開 ～ナノ炭素素材の産業応用～

浜松地域が高度産業都市として持続的に発展していくためには、当地域のものづくりを強かに支えてきた中小企業の活力と躍進が不可欠です。当地域のものづくり中小企業を取り巻く環境がより一層厳しさを増していくとの見通しの中で、安定した経営を展開していくためには「差別化」「高付加価値化」を図ったうえで、

「提案型企业」へと転換していくことが求められています。浜松地域新産業創出会議では、中小製造業が新たな技術や製品の開発を通してイノベーションに挑戦しようとする取組みを支援するため、この度「産学連携」や「産産連携」を促進し、当地域におけるオープンイノベーションを醸成するねらいのもとに昨年度から技術サロンを開催しています。

第2回目となる今回は、自動車、航空機へ応用され注目されている新材料について着目し、カーボンナノチューブの産業応用例について産業技術総合研究所から発表をいただき続いて大学の研究者からテーマに関連した研究内容を紹介していただきます。

また、発表終了後には発表者にも参加していただいたの名刺交換会の場も用意しています。是非新たな出会いの場としてご参加ください。

【日 時】 2015年12月16日（水）15：30～18：00
【会 場】 グランドホテル浜松 鳳東の間
（浜松市中区東伊場1-3-1）

【内 容】

第1部：市場動向（15：30～16：30）

〈テーマ〉 「カーボンナノチューブの産業応用例紹介 ～自動車、航空機への応用～」
〈発表者〉 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター

首席研究員 湯村 守雄

氏

（NEDOプロジェクト：低炭素社会を実現するナノ炭素材料実用化プロジェクトリーダー）

第2部：大学発関連研究テーマの紹介（16：40～17：20）

〈テーマ〉 「もう一つのナノカーボン、DLCO ～その魅力に迫る～」
〈発表者〉 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 滝川浩史 氏

〈テーマ〉 「紡績性カーボンナノチューブによる事業化の期待と課題」
〈発表者〉 静岡大学 学術院 工学領域 電子物質科学コース 准教授 井上 翼 氏

第3部：名刺交換会（17：30～18：00）※コーヒー、紅茶をご用意しております

【定員】50名

【参加会費】浜松地域新産業創出会議会員：無料
浜松地域新産業創出会議非会員：1,000円

【共催】静岡技術移転合同会社（静岡TTO）、東海INET

【協力機関】静岡大学、浜松医科大学、静岡理工科大学、豊橋技術科学大学
光産業創成大学院大学、静岡文化芸術大学

【申込・問い合わせ】

浜松商工会議所 工業振興課 〒432-8501 浜松市中区東伊場2-7-1
TEL：053-452-1116
FAX：053-459-3535
E-mail：kogyo[at]hamamatsu-cci.or.jp

【詳細】<http://www.hamamatsu-cci.or.jp/events/show/488>

《 みんなのコラム -90- 》

記：グリーン科学技術研究所 教授 近藤 満

現在進めている主要研究テーマの一つに水溶液中からの有害イオンを選択的に除去する金属錯体の合成がある。金属錯体は、金属イオンと有機分子を組み合わせて合成する。

2001年に静岡大学に赴任した当初、銅を活性中心に含む金属酵素の機能解明を目的とした金属酵素のモデル錯体の合成に取り組んでいた。その合成実験の過程で、あるモデル化合物の単離を目的として、対イオンに過塩素酸イオンを共存させた際、きれいな紫色の結晶が得られた。

偶然得られたこの化合物は、単結晶構造解析の結果、過塩素酸イオンが捕捉されたカプセル構造をもつ金属錯体であることが分かった。過塩素酸イオンは水に対する溶解度が非常に高く、その選択的な除去は極めて困難であることから、このカプセルの生成をその選択的除去に使用できないかと考え、これが金属錯体を用いて水溶液中の有害陰イオンを除去する研究の契機となった。

本研究室に来てくれた学生諸氏の努力の結果、この発見から10年程の間に、ppbレベルという低濃度レベルに達するまでの過塩素酸イオンの除去、環境水からの硝酸イオンの除去、あるいは水溶液中の過塩素酸イオンの呈色による検出、などの多様な成果が出ている。

これらの研究は学術的な興味に加え、社会的に必要とされている材料や機能は何か、という課題に対する、種々のメーカーからの問合せ、アドバイス、そしてディスカッションに支えられながら発展してきた。

また、特許の申請と取得、予算申請、展示会への出展や企業との連携を行う上で、知的財産本部（現在のイノベーション社会連携推進機構）の方々の甚大なるサポートに支えられてきた。

30代前半に、テーマを探し、選べる機会を得たことは非常に幸運であったと思う。昔と違い、大学が、その存在意義を問われる時代が来ている。

基礎研究、応用研究のいずれの視点から見ても、その研究の意義と目的、そして結果がクリアに説明できる研究を目指している。

《先生の研究にご興味をお持ちの方は下記HPをご覧ください》

http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~scmkond/Kondo_Lab/

<< 編集後記 >>

11月12日（木）ホテルアソシア静岡にて「共同研究希望テーマ説明会」を開催いたしました。
本説明会は毎年行われており、今回はテーマを「ものづくり技術」一本に絞り、主に静岡市及び近隣地域の企業に向けて5名の先生にシーズを発表していただきました。
静岡市内で開催され、静岡県・静岡市等にご協力をいただいたということもあり、今まであまり交流を持つ機会がなかった、静岡県中部、東部の多くのものづくり企業の皆様にご参加いただきました。
先生との個別相談を希望される企業も数件あり、今後の連携が期待されます。これからも地域のニーズに合わせた説明会等のイベントを企画し、静岡大学の研究シーズを積極的に発信していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
編集：谷口悠里
発行責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1413
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

Copyright (c) 2008-2015
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved